

DAN杉本氏作成アプリ『AR地形模型を利用した沖縄島中南部1948年地形復元

利用方法



ARで地形模型アプリ！
GPS対応

『AR地形模型』



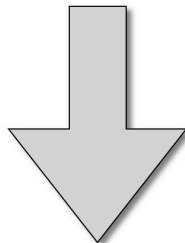
<https://www.kashmir3d.com/online/ardemapp/>

国土地理院の地図を中心にした地図を地形模型としたARで見られます。
iOS12の新機能、ARの共有により複数のスマホで同じ地形模型を見られます。
GPSトラックデータやポイントデータを地形模型の上に表示可能。
2DではGoogleMapも使用可能。
GPS機能を搭載し、現在位置の表示もできます。

アプリの設定や地図表示等の操作は、このアプリのマニュアルを。
また、本ドキュメント操作方法以外の操作も可能。詳細はマニュアル参照。

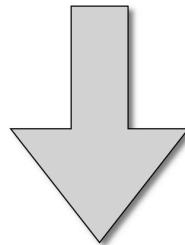
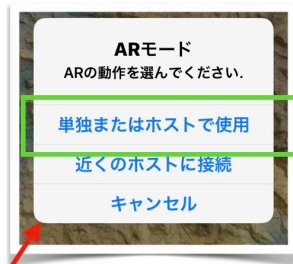
国土地理院標準地図を表示させ（これ以外の地図データも表示可能）





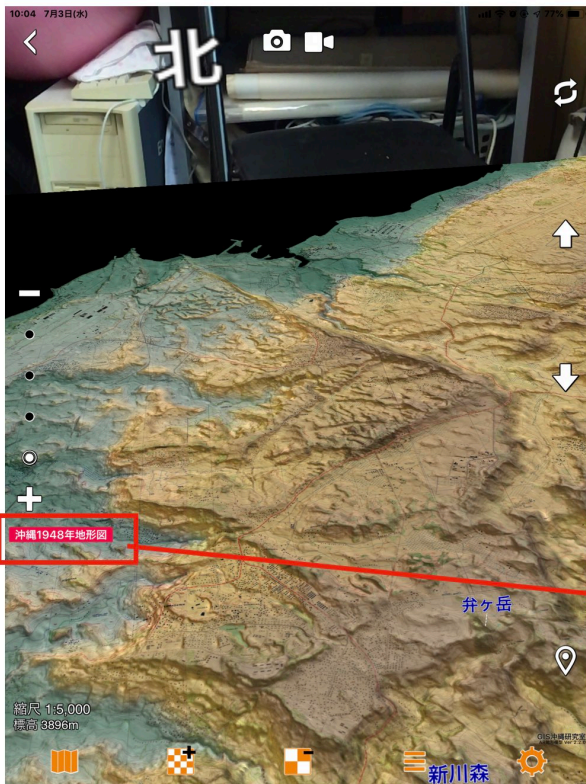


3D地形模型を ARで





内蔵カメラが起動して
3D地形模型を配置する
平面を自動で探す。
見つかりと画面にブルー
矩形が表示される。
このブルー領域をタップ
する。



平面に3D地形模型が配置される。
カメラ位置の移動によって、鳥瞰視点が移動する。
詳細はマニュアル参照。

『1948年地形モデル＋1948年地形図＋同レリーフ』
『1948年地形モデル＋標準地図＋同レリーフ』
切り替え

10:07 7月3日(水)



● 沖縄1948年地形図

● 沖縄レリーフ+地理院地図



地理院地形モデルと 標準地図の地形模型表示

